

農業日和

第20号
発行: 修明高校農業クラブ
令和2年7月31日

知識と体験の農業クラブ

7月は天候不順が続き各地で大雨の被害が多くみられました。そんな中でもクラブ員の皆さん(＝農業科全生徒)は学習や部活動等に懸命に取り組んできたかと思えます。

農業科の特徴は何と言っても「実習」です。「座学」で知識を学び、実習で経験として学ぶ。その両方があるからこそ私たち農業科の「学び」は深まります。夏季休業中も資格取得や出校実習があります。自分のやることを丁寧に一生懸命頑張ってください。それが自分の進路、自分の人生を開く一歩となるはずですよ。本号ではこの1ヶ月間の取り組みを紹介し、各専攻班等の記事を読み、同じ農業クラブ員の活躍を知り、今後の活力にしてほしいです。



マスコットキャラクター「のうくっく」



青々と盛んに分けつ中(茎が分かれ出ること)



いまの本校水田の様子

生産流通科畜産班

私たちの牛を、家畜市場に出荷 ~2年専攻生、家畜市場のせりに参加~

福島県家畜市場

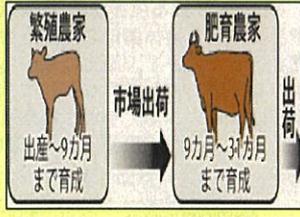
県内唯一の家畜市場、各地から牛が集まります。7/7~8の2日間で約400頭がせりにだされ、他の農業高校からも和牛が出荷されました。



7/8(水)畜産専攻2年生8名で、本宮市で開催された和牛せりに繁殖牛「みさき」を出荷しました。この日まで9ヶ月間、現3年生も含め実習で丁寧に心を込めて飼育してきた牛がどのような価格に評価されるか重要な日でした。結果として上々の評価を得ることができました。参加した生徒たちにとって今後の活動への意欲の向上とともにプロの畜産業の空気を感じる良い機会となりました。

【修明の黒毛和種は繁殖牛?】

畜産農家は主に繁殖農家と肥育農家の2つに分けられます。前者は母牛に子牛を産ませその子牛をせりに出荷します。後者はせりで購入した子牛を肥育し良い肉用牛へと育て家畜市場などへ出荷します。修明には現在、親牛3頭・子牛1頭がいますが、すべて繁殖牛として実習を通じて飼育中です。



せりに参加して、どうでした?

畜産専攻生2年を代表し、2名にインタビュー。
左: 櫻井 奈々さん
右: 相笠 大翔くん



1日を通して牛がたくさんいたり市場施設の広さなど、びっくりする事の連続でした。普段の授業では体験できない事が多く、貴重な経験でした。

体型や重量等さまざまな牛がいて驚きました。最後に「みさき」をブラッシングした時には寂しさもありましたが、次の肥育農場ではさらに元気に立派な和牛に育ってほしいです!

育成農家は、何をみて価格を決めるの?

→最も重要なのは「血統」です。特に父と母方の父が重要です。せりの参加者は「出場牛名簿」で血統を確認し、体重や毛並みなどを総合的に判断します。中には、体高・体重などが理想的で県の基準をクリアした牛(指定保留牛=「おびつき」ともいう)も出荷されています。

父	母の父	母の祖父	4代祖
百合白濁2	安福久	百合茂	平茂勝
ひき562	248420	(80.5)	
勝万幸	安福久	福之国	安 平
全十ひめ	257915	(80.5)	
紀多福	隆之國	安永福	百合茂
はじめ	254578	(80.4)	
実有貴	福 栄	赤福 (大分)	神高福
くにおひ246	226538	(79.4)	
騎士郎	安福久	平茂勝	安 平

【せり当日の専攻生の活動】

- 7:00 学校に集合・準備をして出発。
- 9:00 家畜市場に到着。せりに向けブラッシング(つや出し)で最終調整。
- 9:30 研修会(自給飼料生産について)に参加。畜産業者から教わる。
- 10:00 市場内を見学。広大な施設にみんなびっくり。
- 10:30 「みさき」のせり開始。競売は短時間で終わる。その後せりを見学。
- 12:00 せりを終え、学校に向け出発。



「みさき」。性格は人見知り



せり前の「つなぎ場」。牛だらけでびっくり



せり場に誘導する山形くん(2-2)



せり場で最後のアピール!

修明産メロン、今年も好評！

7/10(金)に修明産メロン(赤肉種の「レノン」)の販売会が実施されました。例年とは違い新型コロナウイルス感染防止対策(整理券の配布や周辺の消毒等)をしながらの販売でしたが、限定100個のメロンはわずか20分ほどで完売。地域の方からも「毎年買っている。とても甘くておいしい!」とのご意見をいただきました。



事前の準備から当日の販売まで普段とは違う実習でしたが、準備したメロンが短時間で完売し、達成感の持てる販売会でした。

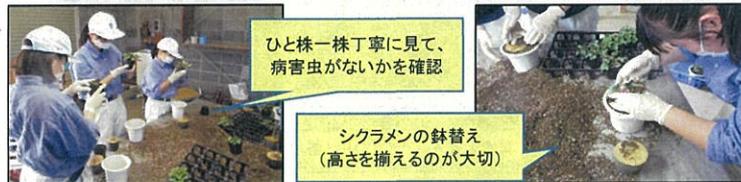


3-2野菜専攻生の
國井雄太郎さんと大谷悠翔くん

想像以上にお客さまが多く驚きました。播種から販売まで関わると共に、多くの方に修明メロンを購入いただき嬉しかったです。

秋冬に向け、丁寧に栽培中

春の販売(カーネーションなど)も新型コロナウイルスに負けず、例年通り終えることができました。現在は、秋から冬にかけて販売・利用されるシクラメンやプリムラ、ハボタンなどの栽培を始めたところです。今年度も地元の方に販売を行い、喜んでいただけるよう一つ一つの作業を丁寧に心を込めて取り組んでいきます。



ひと株一株丁寧に見て、
病害虫がないかを確認

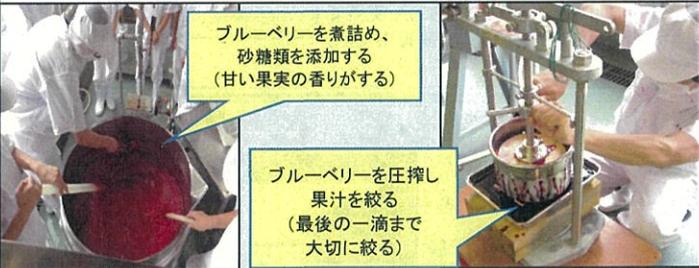
シクラメンの鉢替え
(高さを揃えるのが大切)

～シクラメンって、どんな植物?～
サクラソウ科の多年草。花弁はピンクや赤、白色、赤紫色などがあり、形も八重咲きやフリンジなど様々です。人気の草花ですが、播種から出荷まで13カ月ほどかかり、その間の鉢替えや温度管理、開花を販売のタイミングに合わせるのが難しく、栽培技術が求められます。



棚倉産ブルーベリーの加工品をどうぞ

棚倉町にある生産者組織「棚倉町ブルーベリー愛クラブ」は、地域特産品の開発と遊休農地の活用を目的に、ブルーベリーの生産・加工・販売を行っています。設立当初、本校食品科学科の加工施設でジャム等を製造していたことをきっかけに、本校農畜産加工班でも加工・販売するようになりました。今年も棚倉町特産のブルーベリーが入荷、加工実習が始まりました。是非、クラブ員の皆さんも味わって下さい!



ブルーベリーを煮詰め、
砂糖類を添加する
(甘い果実の香りがする)

ブルーベリーを圧搾し
果汁を絞る
(最後の一滴まで
大切に絞る)

【棚倉産ブルーベリーを使用した加工品】

・果汁入り飲料 : @300円(500ml)、@100円(180ml)

・ブルーベリージャム : @400円(190g)
・ベリーベリーじゃむ : @200円(190g)
(本校オリジナルジャム。果汁入り飲料を製造する際に発生する搾汁の残りを活用したジャム。ブルーベリーとストロベリーが入っています。)



ワープロ検定に挑戦 ~最後まで真剣勝負~

7/18(土)8:30より、本校パソコン室を会場に日本語ワープロ検定(日本情報処理検定協会)が希望者(18名)で開催されました。希望者のみということで、これまで磨いてきた技術に絶対の自信があるクラブ員がほとんどで、最後の一打まで集中して検定に取り組みました。今年度2月には農業科1・2年生全員が受験します。それまで、日々の授業でパソコンの技術を磨いていきましょう。



学年を超え、1~3年生が真剣に臨む



主な受験級は、1級2名、準1級2名、
2級3名、準2級4名など



緊張の中、パソコンを打つ音だけが響く



結果にこだわり、絶対合格!!

他にも
いろいろな活動をしています!
(今後記事として取り上げます)

【生産流通科】

- 野菜班:これから夏野菜が最盛期になります。
- 草花班:校内花壇の草花も順調に生育中。たくさん見てね!
- 作物班:水田管理に加え、コンニャクイモの栽培を開始。
- 畜産班:8月に卵用鶏の総入れ替えを予定、準備中。
- 植物バイオテクノロジー班:パチュアの薬調査。

9月以降、新しい鶏の卵を販売。

【食品科学科】

- 農畜産加工班:ジャム・ジュース等の購入は郷先生まで。
- 製菓製パン班:マドレーヌ等焼き菓子の製造販売(1年)
- 実験乳加工班:アイス試作(1年)、タピオカ試作(2年)、7/31に商品開発の中間発表(3年)

手ごろな飲みきりサイズは100円で販売。

今後の予定

(状況により延期・中止等有)

- 8/3~4: 小型フォークリフト技能講習(3-2)
- 8/4~5: 小型フォークリフト技能講習(2-3)
- 8/17~18: ボイラー講習(1-3)、小型車両講習(2-2)
- 8/18~20: アーク溶接講習(1-2)
- 8/28 : コレージュ・ド・修明

本号の
製作者



左から
2-2 山形 祐貴くん
2-2 高柳 葵さん
2-3 和知 詩さん

クラブ員のご意見募集中!